

## 守りたい日本の響き!! 和☆Rock 被災地で練習場を再開

2008年大学の同好会として発足し、メンバー21名。2010年には小・中学生の和☆Rock Jrも発足し総勢27名で活動しています。

2016年4月から安浦に練習場の拠点を移し、若さあふれるパワーとハジける笑顔でパフォーマンスを行う和太鼓グループです。和太鼓を中心に、篠笛・琴・三味線など日本の伝統も大切にしながら、ギター・ドラムなど洋楽器も積極的に取り入れ、演奏活動をしています。

昨年の7月豪雨で練習場も浸水、土砂災害の被害を受けましたが、幸い楽器類すべて無事だったことからメンバー全員で話し合い、「辛く大変な時だからこそ皆さんに少しでも楽しい時間を過ごしていただきたい。」「演奏で笑顔届けたい。」と思い、昨年9月2日に呉市文化ホールで結成10周年目の記念ライブを開催しました。今年は6月30日14時から、きらめきホールで演奏会を開催します。



練習風景



練習場



呉線・全線開通記念式典時の演奏

- 2016年 **けんみん文化祭和太鼓フェスティバル16 最優秀賞受賞**
- 2017年 **国民文化祭「太鼓の祭典」初出場 和☆RockJr. けんみん文化祭 最優秀賞受賞**

## 宮原律 フルートに想いをよせて

宮原律さんは安浦まちづくりセンターに6年間勤務し「きらめき音楽館」を企画。クラシック音楽とは縁遠い安浦町のきらめきホールは、音に浸る喜びで満たされました。59回まで担当され、地域に根差した仕事をしてこられました。音楽の仕事とのバランスを考えるようになり2018年の3月に退職。

今はMiu音楽事務所と(公財)呉市文化振興財団の登録アーティスト事業で演奏家として活動。安浦・竹原でフルートとピアノを指導、病院で音楽療法、県社協のリトミック講師と、活動は多岐にわたります。音楽の力、可能性は広く深く社会に届いています。

昨年の豪雨災害の後、演奏する気力を失いつつも周りから「響きが増した」と言われ、音楽に変化が起きたそうです。「人の優しさ、人とのつながりや演奏をきっかけに幅が広がっていく。今あることを感謝し、その喜びに表現したい。」と言われます。また、律さんのフルートが聞きたいですね。



## 三津口湾の冬空に花が咲いた!!



2月2日夜、昨年7月の豪雨災害で亡くなられた方の追悼と、地域の復興を願い、三津口湾で「安浦ゆめ花火大会」が開催されました。

この花火は、例年11月に行われていた「新ええとこ祭り」実行委員会や地元自治会連合等が企画し、安浦漁協や各商店が焼カキ・うどん・甘酒・しるこ・ポップコーンなど無料提供され、盛り上がり華を添えました。また、消防団や警察の方々のご協力のもと、1100発の花火が打ち上げられ、夏花火とは違ったきれいな花火となり夜空を彩りました。

## 安浦を元気にする活動

### がんばろう安浦!! 花火見物場所の一斉清掃

安浦ゆめ花火大会の準備として、1月20日安浦新ええとこ祭り実行委員会の有志35名が、実成新開観覧場所の草刈りと清掃をしました。

小雨のなか作業開始し、半日かけて軽トラ約30数台分の草と1台分のゴミを回収し、見違えるようになりました。

皆様、寒いなかご苦労様でした。



草刈り・清掃作業

## おでかけ情報

3月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	安浦地区育児相談室	3/15(金) 10:00~11:30	三津口分館2階和室
	シアター(映写会)	3/16(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	講演会(誰もが笑顔でいられる安浦をめざして)	3/17(日) 10:00~12:30	安浦保健出張所
4月	学習発表会(展示の部)	3/18~24(月~日) 安浦まちづくりセンター1階ロビー	
	栄養教室	3/19(火) 10:00~12:00	まちづくりセンター調理室(参加費50円)
	学習発表会(舞台の部)	3/24(日) 9:30~14:10	安浦まちづくりセンター
	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
5月	ストレッチング教室	4/9(火) 10:00~11:30/13:30~15:00	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	4/12(金) 10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
	安浦地区育児相談室	4/19(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	シアター(映写会)	4/20(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
6月	盛川酒造蔵まつり	4/21(日) 10:00~15:00	原畑・盛川酒造
	河津桜-34本	開花中	野呂川河口(実成新開)
	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金) 10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	6/14(金) 10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
6月	シアター(映写会)	6/15(第3土) 10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	ストレッチング教室	6/18(火) 10:00~11:30/13:30~15:00	安浦保健出張所
	安浦地区育児相談室	6/21(金) 10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	和☆Rock演奏会	6/30(日) 13:30開場 14:00開演	きらめきホール

# やすうら 記憶 遺産

## 灰山 内海



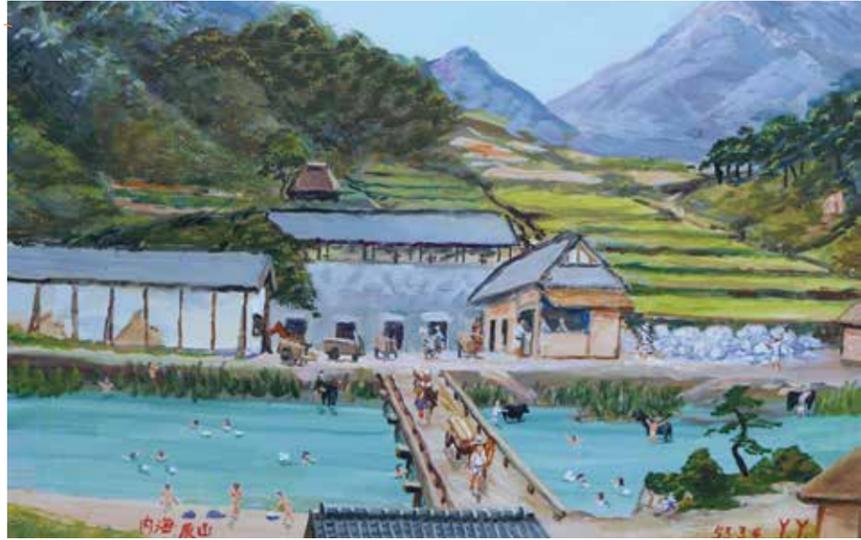
才崎で操業していた石灰製造所があった場所。石灰を積んだ牛馬が行き交った橋だけが今も残る。

灰山(はいやま)と土地の人から呼ばれた小さな工場が描かれています。白い石がおびただしく積み、戸口の奥で何かを焼いています。高温で白い石を焼いているようです。石灰(せっかい)石です。灰山には次々と牛馬や馬車が到着し、石灰を積んでは方々の村へ帰っていきます。灰山とは、いったいどんな所だったのでしょうか。

農業の起源から何千年の間、人々は牛馬の糞、人の糞尿、魚粕、植物の油粕、刈り取った草々などを利用し、様々な工夫をこらして肥料を自給してきました。ところが、天然の石、いわゆる無機物が田畑の肥料として使えることを人類は19世紀半ばに初めて発見したのです。

ヨーロッパの科学者が鉱物で人造肥料開発に取り組み始めた頃、幕末の日本、とくに西日本の石灰岩地帯では田畑の肥料、防除用に石灰を利用することが始まっていました。「安く、よく効く」農業用石灰は重宝され、明治・大正の最盛期には安浦町内で8つの製造所が操業していました。

芸予諸島から採石された石灰石は船で内海の港へ陸揚げされ、製造所で加工され、内陸部の黒瀬、西条といった農村地帯に運ばれていったのでした。内陸の農村へ帰る一本道、石灰を運ぶ馬車でひしめいた往來の道は、茶道(ちゃどう)辺りにわずかに面影を残しています。



# 安浦を訪ずれた 冬の使者

今年も安浦を忘れずに来てくれたカモ達。昨年7月の豪雨災害で河川や海は泥・流木で覆われ、エサ場の確保が難しくなりましたが、少しずつ元の状態に戻ってきました。渡り鳥も安心して羽を休めたり、エサをついばんでいました。



野呂川河口



日之浦湾



# 竹内理容院

呉市安浦町内海南1丁目10-43 ☎84-2773



自宅改装店舗



2代目 克己氏



3代目 克佐氏

竹内理容院は昭和24年、2代目竹内克己氏が内海地区の横町商店街に、アットホームな理容店として開業しました。(初代は神戸市で開業)

開業当初から、地域の子供や学生さん・一般の方まで幅広い層のお客様に愛されてきました。

現在の克佐氏は3代目。2代目が築いた「まちのよき床屋さん」スタイルを受継ぎ、新たな常連さんを見いだしてきました。

しかし、昨年7月の西日本豪雨災害で店舗が被害を受け、「店舗改修か移転か」「存続か否か」大変悩まれましたが、常連さん達から暖かいエールをもらい、自宅改修を決意され、被災1カ月後の8月から営業再開。「以前の店舗より少し手狭ですが充分です。今後とも地域の方々に慕われる理容店をめざして頑張ります。」と復興にむけて力強いコメントもいただきました。

## 災害写真提供のお願い!!

届け先: 安浦市民センター大石まで ☎0823-84-2261 募集期間: 3/1~5/31

まちづくり協議会では、昨年の西日本豪雨で町内に発生した甚大な被害状況を記録に残すため、災害の写真を集めています。

皆様が撮影保管されている災害写真があれば、写真・USBメモリー・SDカードいずれでもよろしいので提供をお願いします。



災害写真例

## 写真でみる今と昔

### 安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景をご覧ください。

#### 内海北2丁目



大正10年の茶道筋、現在の安浦町サービスセンター付近にあった 木原酒造第3工場の写真。昔から茶道筋は安浦~黒瀬間のメイン道路であり、賑わっていた。



県道34号線も100mほど南に移ったため、昔からの商店は県道・国道沿いに移転し、静かな住宅街になった。

#### 安登中央ハイツ



千人塚・賽の神

日之出木工

昭和40年代前半の写真。日之出木工以外は山と田畑であり、山裾には江戸時代の浦辺街道が通り、川尻との町境には源平合戦の千人塚と賽の神が祀られている。



株ダイクレ

山林は大型団地、日之出木工は(株)ダイクレとなって拡張され、風景も一変した。また団地の入居とともに児童数も増え、小学校も賑やかになった。